

<当院の外科において治療を受けられた患者さん> 臨床研究のご協力をお願いいたします。

「当科の手術症例における退院経路に影響する臨床因子の検討」 に関する臨床研究を実施しております。

埼玉県済生会加須病院倫理審査委員会の審査による委員長の承認を得て、調査を行っています。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	承認番号第 88 号
研究課題名	当科の手術症例における退院経路に影響する臨床因子の検討
所属(診療科等)	外科
研究責任者(職名)	済生会加須病院 外科 氏名 原 仁司
分担研究者	済生会加須病院 外科 氏名 板橋 道朗、岩本一亜、 木戸 知紀、武藤 靖英
研究の意義、目的	当院は医療不足地域のひとつである埼玉県利根医療圏の三次救急病院として2022年6月1日に現在の加須市へ新築移転された。高齢化社会が急速に進行する中、地方医療において様々な基礎疾患や社会的背景を有す高齢者の診療機会が増加している。特に外科手術症例においては疾病および手術侵襲による術後のQOL低下をきたしやすく、自宅退院以外の多様な退院経路の手配を要することが少なくない。そのような症例では退院先調整に時間を要した結果、在院日数が延長しやすい。退院経路に影響する臨床因子を明らかにすることができれば、該当症例に対し、より早期に積極的な退院支援介入が可能となり、患者満足度の高い円滑な退院先の手配、さらには在院日数短縮による医療コストの改善や病床運営の円滑化が期待される。本研究では、当科の外科手術症例と臨床因子の関係を検討し退院経路に影響する臨床因子を明らかにすることを目的とする。
対象となる患者さん	2022年6月1日以降に当科で全身麻酔下手術を施行された症例を対象とする。診療記録から十分な臨床因子を抽出できない症例は除外する。
利用するカルテ情報／検体	カルテから抽出できる、診断名、治療歴、年齢、各種検査結果など

研究方法	<p>本研究は後ろ向き観察研究にて実施する。既存の診療記録より臨床因子を抽出する。次項の評価項目を用いて「自宅退院群」と「非自宅退院群」に分類し臨床因子と退院経路との関係を検討する。</p>
研究における医学倫理的配慮について	<p><u>I. 被験者の尊厳及び人権の擁護</u></p> <p>「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施する。</p> <p><u>II. 被験者の個人情報の保護</u></p> <p>本研究にかかる資料等を取り扱う際は、被験者の秘密保護に十分に配慮する。結果を公表する際は、被験者を特定可能な情報を含まないようにする。また、本研究以外に本研究から得られた被験者のデータを使用しない。</p> <p><u>III. 被験者に理解を求め同意を得る方法</u></p> <p>本研究では、倫理委員会で承認の得られた文書を病院のホームページに掲載することによるオプトアウト形式を用いる。</p> <p><u>IV. 研究等によって生ずる被験者への不利益及び危険性並びに医学上及び社会貢献の予測</u></p> <p>本研究は既存の診療記録より抽出した臨床因子を用いた後ろ向き観察研究であるため、被験者への不利益及び危険性については該当しない。</p> <p>退院経路に影響する臨床因子を明らかにすることができれば、該当症例に対し、より早期に積極的な退院支援介入が可能となり、患者満足度の高い円滑な退院先の手配、さらには在院日数短縮による医療コストの改善や病床運営の円滑化が期待される。</p>
お問い合わせ先	<p>外科 原 仁司</p> <p>済生会加須病院 (電話：0480-70-0888)</p>

既存の検体や診療記録(カルテ情報)、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者さんを直接特定できる個人情報がありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術

雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報を利用しません。

お問い合わせにより、研究計画書の閲覧が可能となります。

研究対象の患者さんについては、研究内容を知るという目的の限りにおいて、研究計画書を閲覧することが可能です。それ以外の目的で研究内容の閲覧希望がある方、または研究対象の患者さん以外でご興味がある方については、個別に対応させていただきます。

研究への協力を希望されない場合には、お問い合わせ先までご連絡ください。

本研究は、患者さんのご協力により成り立っております。研究対象への組み入れを希望されない患者さんは、お手数ですが上記のお問い合わせ先までご連絡ください。組み入れをご希望されない場合でも、今後の診療行為に影響が出ることは一切ありません。